

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	起動窓口多様化後のRRS起動の実態
意義・目的	<p>Rapid Response System (RRS*) は、病状増悪を早期に察知し、迅速に対応することで、院内心停止をはじめとする重大な有害事象を減少させる医療安全管理システムで、RRS導入により院内心停止が有意に減少すること、入院患者1000人あたり25件以上のRRS起動が患者転帰を改善すると報告されています。2021年度までの当院のRRS起動は12件/月であったため、起動促進のため2022年度よりRRS起動窓口を多様化とし、RRS専従認定看護師（以下、CN）にも相談が選択できる体制としました。その結果、2022年度以降の起動件数は増加傾向にあります（2022年度：25.8件、2023年度：31.4件、2024年度：31.8件）。</p> <p>RRS起動件数の増加の要因がどのような因子に起因するのか、要請内容や患者背景が医師への要請と専従CNで異なるのか、また要請件数増加により転帰として予期せぬ心停止やICU入室の減少に寄与しているかを後方視的に検討するために調査を行います。</p> <p>*患者さんの状態が重症となる前に早期に発見し、治療につなげるシステム</p>
研究期間	当院病院長許可日(利用開始日) 2025年11月6日～2027年3月31日
対象患者	起動窓口多様化導入後の2021年4月1日～2025年3月31日までにRRS起動となった患者さん（そのうち外来患者さん、夜間・週末・休日のRRS起動の患者さんは除く）
研究内容	電子カルテ及び後利用システムを利用より「利用する試料・情報の項目」を収集します。個人を特定する情報を削除した上で、解析・分析担当者（天理よろず相談所病院 麻酔科 相山医師）へEメールにて送付いたします。
利用する試料・情報の項目	年度、起動日時、年齢、性別、診療科、RRS発生場所（病棟種別）、ICU退室後24時間以内の起動の有無、起動時のバイタルサイン（体温、血圧、心拍数、呼吸数、SpO2、意識レベル）、起動時のNEWSスコア、入院後24時間以内の起動発生の有無、転帰（予期せぬ心停止、ICU予定外入室、1ヶ月後転帰、在院日数、生存退院）、起動時心停止の有無、RRS起動者（CN、医師）、起動内容（CN、医師）等
試料・情報の他機関への提供有無	<p>■あり（ ■国内 □海外 ）</p> <p>提供方法：施設間でのデータの共有については、Eメールを介してパスワード付きの圧縮ファイルで送受信することで、情報の漏洩リスクの対策とする。</p> <p>□なし</p>
提供を開始する予定日	当院病院長許可日

提供する試料・情報の項目	「利用する試料・情報の項目」と同様
研究組織	<p>研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 西尾万紀</p> <p>共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし</p> <p>試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし</p>
本研究に関する当院の連絡先	<p>研究責任者： 島根県立中央病院 看護局 西尾万紀 電話：0853-22-5111 (代表)</p> <p>事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590 (直通)</p>
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL : https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy
結果の公表	2027年頃に投稿論文として公表予定です。
備考	